

Worldwide: Japan Project

2016年10月8日[土] 恵比寿ガーデンプレイス

音楽の伝道師ジャイルス・ピーターソンがプレゼンターを務める特別企画!
「日本の美意識」と「サンバの歩み」。
国内外の音楽文化を飲む、2つのメモリアルなセッションをお届けします。

モントルー・ジャズ・フェスティバル・ジャパン2016がプロデュースする
恵比寿文化祭内の特設ステージで行うフリーコンサート!
芸術の秋がワクワクする音楽体験をお届けします。

JAPAN STAGE in TOKYO 本邦初披露のライブ

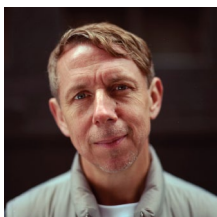
南仏最大級の音楽祭「Gilles Peterson's Worldwide Festival 2016」でスタンディング・オベーションを浴びた感動のステージを、日本のオーディエンスに向けて再構築! **井上純**のフィジカルなライブ・ペインティングに**Kan Sano**のエモーショナルな鍵盤、そして**熊谷和徳**のタップダンス! 世界が注目する3人の表現者が「日本の美意識」をテーマに繰り広げる圧巻のパフォーマンスが見る人のハートを揺さぶります。

サンバ100周年の歩み 100 Years of SAMBA 東京とリオを結ぶ特別セッション

リオデジャネイロで生まれた音楽「サンバ」のファースト・レコーディングが行われてから今年で100年。1916年に収録・発売された楽曲『ペロ・テレフォニ(電話で)』はサンバをジャンルとして確立したといわれています。そのサンバの歩みを記念する、この日限りのスペシャル・バンドが誕生します! 音楽監督は、日本のブラジル音楽における重要人物、**伊藤ゴロー**。ゲストには、サンバの巨人マルチーニョ・ダ・ヴィラを父に持つ音楽家**マイラ・フレイタス**をブラジルから迎えます。アフリカのリズムとヨーロッパのメロディが融合し喜びや悲しみも表現される美しい音楽“サンバ”の歴史と未来を祝福しよう!

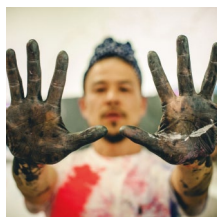


プレゼンター



ジャイルス・ピーターソン
from UK

出演



井上純



Kan Sano



熊谷和徳



伊藤ゴロー



マイラ・フレイタス
from Brasil

【情報解禁：8月26日（金）正午】

Worldwide : Japan Project 2016年10月8日[土] 恵比寿ガーデンプレイス

- 開催日：2016年10月8日（土）開演：14:50
- 会場：恵比寿ガーデンプレイス センター広場 恵比寿文化祭特設ステージ
- プレゼンター：ジャイルス・ピーターソン (from UK)
- 出演：熊谷和徳 井上純 Kan Sano 伊藤ゴロー マイラ・フレイタス (from Brasil) **初来日**

観覧無料

主催・企画・制作

株式会社シャ・ラ・ラ・カンパニー
モントルー・ジャズ・フェスティバル・ジャパン 2016 実行委員会

後援

駐日ブラジル大使館
ブラジル外務省
ブラジル文化省

助成

アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）

協力

恵比寿文化祭
333DISCS
origami PRODUCTIONS
KAZ TAP STUDIO

MSエンタテインメント株式会社
株式会社キングインターナショナル
株式会社ヴィジュアルノーツ
松浦俊夫事務所

Official Web Site

<http://www.shalala.co.jp/wwjpn/>

Facebook

<https://facebook.com/WWJPN/>

SAMBA100 年の歩み Facebook

<https://www.facebook.com/100Samba/>



ARTS COUNCIL TOKYO 

出演者プロフィール



伊藤ゴロー

作曲家、ボサノヴァ・ギタリスト、音楽プロデューサー

ジョアン・ジルベルト直系と言われるボサノヴァ・デュオ naomi & goroとして、また、ボサノヴァフィーリングを感じさせる独自のソロ活動で音楽を追究し続けながら、クラシック、ロックと幅広くジャンルを横断。坂本龍一、細野晴臣との共演や映画音楽、原田知世のプロデュース、詩人平出隆とのCrystal Cage Collegeも行う。ブラジルのミュージシャンとも親交が深く、ジャキス&パウラのモレレンバウム夫妻との共演は海外でも話題を呼んだ。伊藤ゴロー+ジャキス・モレレンバウム《ランデヴー・イン・トーキョー》でブラジル・ディスク大賞2位を受賞。2013年ブラジル・ディスク大賞受賞《GETZ/GILBERTO+50》他プロデュース作品も多数。今年、naomi & goroの7年ぶりのオリジナル・アルバム『RIO, TEMPO』をリリース。

<http://itogoro.jp/>

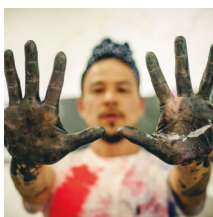


マイラ・フレイトス

ブラジル リオデジャネイロ出身

ピアニスト、シンガー・ソングライター、アレンジャー、サンバ界の重鎮マルチーニョ・ダ・ヴィラを父に持ち、姉はブラジルで名高いシンガーのマルチナリーア。音楽一家に育ち、リオデジャネイロ連邦大学の音楽学校でクラシックピアノを学んだ実力派である。コンサート・ピアニストとして活躍した後、2011年にデビュー。最新作『PIANO E BATUCADA』（2015）では、ピアノと打楽器のアンサンブルによる斬新なサウンドを展開し、クラシック、サンバ、ルーツ・ミュージック、MPBと多岐にわたる音楽への造詣が深いことを見つけた。リオ五輪の開会式では、ブラジルを代表するサンバ・シンガー、エルザ・ソアレスと、開会式では父と共演。未来のブラジル音楽シーンを担う注目の音楽家である。

<http://mairafreitas.com.br/>



井上純

アーティスト

日本特有の繊細な精神性をアブストラクトな線で描き、独特な「間」を作品の中に生み出し、モダンなセンスと伝統的なスピリッツが混ざり合うように、絶妙な感覚が見る者の意識を刺激する。スタイルが常に変化していく自身の表現は、平面から立ち上がり、ファッションやディスプレイデザイン等、様々な分野との融合が見受けられる。

<http://juninoue.jp/>



熊谷和徳

タップダンサー

77年仙台市生まれ。15歳でタップをはじめ19歳で渡米。渡米後、伝説的タップダンサーであるグレゴリー・ハインズに絶賛され、NYのタップフェスに9年連続出演。ニューヨークタイムス等にも度々取り上げられ、VILLAGE VOICE紙では『日本のグレゴリー・ハインズ』と評された。2006年、米ダンス・マガジンにおいて『世界で観るべきダンサー 25人』のうちの一人に選ばれる。2014年、ニューヨークで毎年開催される「NATIONAL TAP DANCE DAY」にて、日本人初初のフローバート賞を受賞した。現在はNYと日本を2大拠点とし、タップという表現を通じてアートシーンを革新し続けている。

<http://kazukumagai.net/>

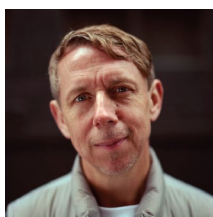


Kan Sano

キーボーディスト/トラックメイカー

パーカー音楽大学ピアノ専攻ジャズ作曲科卒業。在学中には自らのバンドで Monterey Jazz Festival などに出演。キーボーディストとして Chara、UA、大橋トリオ、RHYMESTER、Madlib、Twigy、Shing02、Ovall、mabanua、COMA-CHI、韻シスト、須永辰緒、Monday Michiru、松浦俊夫 presents HEX などのライブやレコーディングに参加。新世代トラックメイカーとしてビートミュージックシーンを牽引する存在である一方、ピアノ一本での即興演奏でもジャズとクラシックを融合したような独自のスタイルで全国のホールやクラブ、ライブハウスで活動中。2014年、国内外のアーティストを迎えたアルバム『2.0.1.1』をリリースし、オリコンセールスチャートにランクインするなど破竹の勢いで音楽ファンの間に浸透中。

<http://kansano.com/>



ジャイルス・ピーターソン

DJ/プロデューサー/ラジオプレゼンター

80年代よりダンスジャズ〜アシッドジャズ〜クラブジャズシーンのキーパーソンとして活躍。その間100枚を超えるコンピレーションの監修、アーティストのプロデュース、フェスティバル主催・キュレーションなど、30年に渡り音楽トレンドを発信し続けるテイスト・メイカー。現在、英国放送局 BBC Radio 6 Music にて週末の看板番組を担当。そして世界9ヶ国でラジオ番組「Worldwide」を放送している。ジャズを中心にしながらも、ジャンルという音楽の境界線を碎き、多くのアーティストと点で結ばれながら、世界中のDJやアーティストに大きな影響を与え続け、またリスナーに愛されてきた音楽革命家である。現在は新世代のアーティストを紹介するために自らレーベル Brownswood Recordings を主宰し、Jose James、Zara McFarlane、Anushka、Dayme Arocena、Shabaka Hutchings など精力的にリリースしている。2016年、ヨーロッパ最大のファイル転送サービス WeTransfer のクリエイティブ・ディレクターに就任。9月には、独自のインターネットラジオ局 Worldwide FM を創設。

<http://gillespetersonworldwide.com/>